

# 「見た目問題」ってなんだろう？ ～アルビノを通して考える～

参加費  
無料

藪本 舞 さん

アルビノ・ドーナツの会代表

白い髪の毛の色に、白い肌、特徴的な瞳の色など…

先天的にメラニン色素が(極端に少)ないアルビノの状態では生まれてきました。私のように「見た目」に症状がある人たちの多くは、その「見た目」から生じる様々な社会的困難に対して、現在公的な支援がほとんどありません。

「アルビノの人たちの存在を初めて聞く」という方も多いかもしれません。「アルビノ」というひとつの症状を入り口に、「見た目問題」と、そして、「様々な人たちが自然に一緒に暮らしていける社会について」ご一緒に考えることができたらと思います。



平成31年  
2月17日(日)

会場 ソレイユプラザなごや研修室

午後2時～午後4時

定員 抽選60名

事前申込制

(申込方法は裏面をご覧ください)

対象 市内在住・在勤・在学の方

※申し込み期限

1月31日(木)まで

※難聴者用磁気ループシステム対応

## 講師プロフィール

先天性眼皮膚白皮症(アルビノ・アルビニズム)として生まれる。

「見た目」の違いや、「アルビノ」のことへの無理解から、自身も就職活動で苦労した経験を経て、2007年2月にアルビノの人たちの当事者グループである「アルビノ・ドーナツの会」を設立する。

アルビノの人たちや、その人と共に寄り添って暮らす人たちの交流会の開催、また他グループとのネットワークづくり、自身の活動圏の関西以外のアルビノの人たちとも交流連携を強めている。

アルビノの情報発信や当事者同士の交流のためにこれまでに関西だけでなく、東北や九州等にも出向き、多くの交流会を開催。また、交流会では集まりにくい若い人たち世代のイベント、「アルビノ甲子園」も開催。

自治体や学校・企業などで、「アルビノについて」「見た目問題について」「マイノリティーの孤立を防止すること」についての講演会を行ったり、新聞やテレビ・インターネット・雑誌等のメディアの取材に対応するなど、啓発活動にも積極的に取り組んでいる。